

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数： 単位 2

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A組：宇田京香）（B組：宇田京香）（C組：宇田京香）（D組：宇田京香）（E組：加藤三奈）（F組：加藤三奈）

使用教科書：（光村図書「書 I」）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
		漢 仮	漢	仮							
1 学 期	単元「書写から書道へ」 ◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。 単元「様々な書体の変遷、臨書とは」 ◎古典の臨書を通して技法を学び、	①筆使い、筆順、字形、配列など小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ②漢字には五つの書体があること、それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。		○	○	【知識・技能】書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んで		○	○	4	
	「文字の造形を学ぶ【楷書】」 単元「あなたは、どの楷書が好き？」 ◎日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。	①A～Dのグループの文字を比較し、自分が好きなものを選ぶ。 ②その文字を選んだ理由や受ける印象を自由に話し合う。 ③選んだ文字ごとにグループを作り、自分が受けた印象は、文字を形成するどの要素から感じ取れるかを話し合う。		○	○	【知識・技能】日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷について理解している。 【思考・判断・表現】漢字の古典の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。【主体的に学習に取り組む態度】漢字の書体の変遷や、その背景にある歴史や文化に関心をもち、主体的に漢字の書の		○	○	6	
	単元「唐の四大家に学ぶ楷書の基本」 ◎楷書の古典「孔子廟堂碑」「九成宮醴泉銘」「雁塔聖教序」「顔氏家廟碑」「牛橛造像記」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①唐の四大家の人物や政治的立場など、その人物像を理解する。 ②初唐の三大家と太宗の関係について理解する。 ③唐の四大家の代表作を知り、書道史において果たした役割や位置づけに関連づけて理解する。			○	○	【知識・技能】楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もう		○	○	8
	文字の造形を学ぶ【行書】 ◎行書の古典「蘭亭序」「争坐位文稿」「蜀素帖」「風信帖」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①行書の成立過程や通行書体としての性質を再確認し、行書を楷書と比較して、点画の丸み、連続・省略などの特徴を理解する。 ②「蘭亭序」を鑑賞し、抑揚を利かせた用筆や、筆脈により自在に変化する文字の姿を感じ取る。		○	○	【知識・技能】行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もう		○	○	8	
2 学 期	文字の造形を学ぶ【草書・隸書・篆書】 ◎草書、隸書、篆書の古典「真草千字文」「曹全碑」「泰山刻石」の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。	①草書・隸書・篆書の成立過程や通行書体としての性質を再確認する。 ②それぞれの古典が作られた経緯や書風について理解する。 ③学習のめあてと、成立・特徴を確認し、観賞・臨書を通し、点画や線質の特徴を理解する。		○	○	【知識・技能】草書・隸書・篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考・判断・表現】草書・隸書・篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もう		○	○	15	
	漢字の創作 古典を生かした創作 ◎漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付ける。□ □	①創作の手順を理解し、書く言葉を決め、表現のイメージを明確にもつ。 ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。 ③試作を重ね、表現を工夫する。		○	○	【知識・技能】漢字の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 【思考・判断・表現】漢字の古典や創作作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もう		○	○	15	

3 学 期	<p>「単元」仮名の成立と種類、仮名の筆使い」「平仮名」「変体仮名」          ◎仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につける。          仮名の古筆「蓬萊切」「高野切第三種」にて書風に即した用筆・運筆、</p>	<p>①漢字の伝来から仮名の成立に至る過程で段階的に発生した仮名の種類を理解する。          ②臨書する部分を観察し、意連・形連のしかたや筆脈の流れ、墨継ぎの場所を確認する。伸びやかな用筆・運筆を意識して臨書する。</p>	○	○	<p>【知識・技能】線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。          【思考・判断・表現】仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。          【主体的に学習に取り組む態度】主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>漢字仮名交じりの書          好きな言葉を書こう          ◎漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫する。</p>	<p>①漢字仮名交じり創作の手順を理解し、表現のイメージを明確にもつ。          ②これまでに学んだ古典を参考にしながら作品の構想を練り、書体や書風、用具・用材、全体構成を考える。          ③試作を重ね、表現を工夫する。落款を入れ、作品を仕上げる。作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流す</p>	○	○	<p>【知識・技能】線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じり文の成立について理解している。          【思考・判断・表現】創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。          【主体的に学習に取り組む態度】主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている</p>	○	○	○	7
									合計
									70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：（AB組：土生）（CD組：土生）（EF組：土生）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ 高校生の美術 1（日文） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創り工夫し、創造的に表すことができるようになる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の動きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにす	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・彫	デ	映						
1 学 期	<p>表現・鑑賞/絵画 見る 感じ取る 考える 表す「テクスチャーアート」</p> <p>【知・技】形や色、材料などの効果や、造形的な特徴をもとに、様々な表現技法の特性を生かして表現させる。</p> <p>【思・判・表】描画材の特性よ技法による形や色の効果や特徴を考え、構想を練ったり鑑賞させる。</p> <p>【主体】形や色、材料などの効果や、造形的な特徴をもとに、美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組みさせる。</p>	<p>・指導事項 小・中学校での図画工作・美術の学習を振り返り、自分の心の中を見つめたり、気付かなかった自分の考えに気付いたりして、自分の美術を見付けていく。抽象的な表現に関心をもち、形や色、材料などの組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。完成作品を鑑賞し、意図や工夫を感じ取り、自分の言葉でまとめ、他者と話し合う。</p> <p>・教材 画用紙・ケント紙、木炭、色鉛筆、クレヨン、アクリルガッシュなど</p>	○			<p>「知」形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に様々な技法の特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>「技」意図に応じて絵の具や様々な描画材の特性を生かすとともに、線の強弱や色の組み合わせなど表現方法を創意工夫して表している。「発」偶然にできた形や色の組み合わせなどの特徴や美しさを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。「態表」形や色、表現の特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に、主体的に取り組みもうとしている。「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表した表現の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組みもうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>表現・鑑賞/デザイン/工芸 生活を彩る模様</p> <p>「オリジナル文様のMyバック」</p> <p>【知・技】自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、計画を基に表させる。</p> <p>【思・判・表】自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果や、模様の構想を練ったり鑑賞させる。</p> <p>【主体】自然物の特徴などを生かして模様をデザインする創造活動に、主体的に取り組みさせる。</p>	<p>・指導事項 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果や、模様の構想を練ったり鑑賞したりするとともに、自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、計画を基に模様をデザインする。</p> <p>・教材 消しゴム版、カッター、スタンプ、布バック、トレーシングペーパーなど</p>	○			<p>「知」形や色彩、構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる人や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作順序などを総合的に考えながら形や色彩、構成の効果を生かし、見直しをもって創造的に表している。「発」用いる人の心情や使用する場面などで求められる効果や機能などから主題を生成し、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。「鑑」模様のもつ機能や用途を生かすための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。「態表」主題を生み出し、模様のもつ機能や用途などを考え、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見直しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組みもうとしている。「態鑑」模様のもつ目的や機能、美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなど、見方や感じ方</p>	○	○	○	16
2 学 期	<p>表現・鑑賞/デザイン ポスターで伝える</p> <p>「お菓子の宣伝ポスター」</p> <p>【知・技】イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、計画を基に表させる。</p> <p>【思・判・表】伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果や美しさ、構想を練ったり鑑賞させる。</p> <p>【主体】伝えたい内容を効果的にポスターに表す創造活動に、主体的に取り組みさせる。</p>	<p>・指導事項 伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果や美しさ、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、商品の宣伝を目的としたポスターを構想する。</p> <p>・教材 ケント紙、アクリルガッシュ、レタリング字典、配色カードなど</p>	○			<p>「知」イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面を、全体のイメージで捉えることを理解している。「技」意図に応じて表現方法を工夫し、アクリルガッシュなどの技法や特性を生かし、計画的に見直しをもって表している。「発」伝えたいメッセージや場面などを基に主題を生成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果や美しさ、構想を練っている。「鑑」ポスターのよさや美しさを感じ取り、作者の意図と表現の工夫、効果などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。「態表」伝えたいメッセージや場面などを効果的にポスターに表す表現の創造活動に、主体的に取り組みもうとしている。「態鑑」ポスターのよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組みもうとしている。</p>	○	○	○	30

3 学 期	<p>表現・鑑賞／絵画 私の見付けた風景 「ゴッホからのメッセージ」 【知・技】ゴッホの色彩や筆致と いった技法の特徴を理解し、風景の 中の空間、形や色彩の効果、全体の イメージなどを捉え、絵の具などの 特性を生かして表させる。 【思・判・表】ゴッホの色彩や筆致 といった技法の特徴を捉え、身近な 場所や風景のイメージなどを基に、 形や色彩、構図などの効果を考え、 構想を練ったり鑑賞させる。 【主体】ゴッホの色彩や筆致といっ た技法の特徴や意図や思い、自分が 選んだ風景から感じ取ったよさや美 しさなどを捉えて表す創造活動に、 主体的に取り組ませる。</p>	<p>・指導事項 ゴッホの色彩や筆致といった技法 の特徴を捉え、身近な場所や風景 のイメージなどを基に、形や色 彩、構図などの効果を考え、構想 を練ったり鑑賞したりするととも に、風景の中の空間、形や色彩の 効果、全体のイメージなどを捉 え、風景から感じ取ったよさや美 しさなどを絵の具などの特性を生 かして表す。 ・教材 ゴッホの作品図版、スクラッチ ボード、ニードル、アクリルガッ シュ、カーボン紙など</p>	○	○	<p>「知」風景の中の空間、形や色彩などが感情にもた らす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイ メージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生か すとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求し て創造的に表している。 「発」風景の中の色や形などを深く観察し、感じ 取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形 や色彩、構図などの効果を考え、創造的な構想を 練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心 情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、 風景画の見方や感じ方を深めている。 「態表」風景から感じ取ったよさや美しさ、不思議 さや面白さなど、感じ取ったことや考えたことなど を基にした表現の創造活 動に、主体的に取り組もう としている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の 表したい風景の特徴や美しさなどについて考え、見</p>	○	○	14	
									合 計 70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～F組

教科担当者：（A～F組：松下 訓子）

使用教科書：（ON！1 音楽の友社）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、糸に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに完成を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想を音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
オリエンテーション										1
A 豊かな声を響かせよう 【知識及び技能】歌唱表現に必要な技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】どのように表現するか意図をもって歌唱できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸法、発声 曲想と歌詞の内容とのかかわり 声の音色や強弱などを生かした表現 ・教材 「校歌」「翼をください」	○			○		○	○	○	8
B 楽譜のしくみを理解しよう 【知識及び技能】楽譜の基本的なしくみを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽典要素を実作品と結び付けて知覚感受させる。 【学びに向かう力、人間性等】楽譜の仕組みに関心を持たせる。	・指導事項 五線、音部記号、音名、速度標語、拍子記号、調号 ・教材 「音楽の設計図」五線譜を見よう		○		○		○	○	○	3
C ピアノを弾こう 【知識及び技能】ピアノの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音色を感じ表現方法を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ピアノに関心を持たせる。	・指導事項 姿勢、指番号、読譜、指使い、タッチ ・教材 「ちようちよ」「ぶんぶんぶん」「きらきら星」等		○		○		○	○	○	7
D 作曲家の生涯と作品をたどろう 【知識及び技能】作曲の背景や音楽の構造を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴を理解し自分なりの感想を持たせる。 【学びに向かう力、人間性等】積極的に意見交換し作品理解を深めさせる。	・指導事項 曲想や音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり ・教材 「メサイヤ」「悲愴」				○		○	○	○	2
E ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】それぞれの楽曲の特徴や時代背景を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】音楽の美しさや特徴をとらえて歌唱表現を行なわせる。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの楽曲に関心を持ち主体的に活動に取り組む。	・指導事項 曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわり、楽曲に対するイメージをもつことと表現の工夫、鑑賞を通した音楽の多様性やそのよさの理解 ・教材 「レ・ミゼラブル」より	○			○		○	○	○	4
筆記テスト							○	○	○	1
F 表現を工夫しギターを演奏しよう 【知識及び技能】ギターの基本奏法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】楽器の響きを感じ表現を工夫させる。 【学びに向かう力、人間性等】ギター演奏に関心を持たせる。	・指導事項 ギターの音色や奏法の特徴、音色・リズム・旋律・強弱など音楽を形づくっている要素の知覚とそれらの働き ・教材 「ギターを弾こう」		○		○		○	○	○	7
G 外国語の歌曲に親しもう 【知識及び技能】言葉の特徴をとらえ、楽曲に応じた発声の技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】言葉のリズムと旋律の関連を知覚し、表現意図をもたせる。 【学びに向かう力、人間性等】楽曲に関心を持ち主体的に活動に取り組ませる。	・指導事項 姿勢や身体の使い方、呼吸、発声、歌詞の内容と曲想、楽曲の文化的・歴史的背景、それぞれの言語がもつニュアンスのちがいを ・教材 イタリア歌曲「Caro mio ben」 ドイツ歌曲「Wiegenlied」	○			○		○	○	○	7



年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(実用書道) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：宇田 京香 ㊟)

使用教科書：「書道Ⅰ」(光村図書)

指導内容 【年間授業計画】	「実用書道」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 ・年間計画の説明 ・漢字の書 ・小筆練習	・年間の予定、授業内容等の理解を把握 ・漢字の書の書体の変遷について知る。 ・「永」の字で基本的な筆法を理解する。 ・小筆について使い方を理解し、様々な技法を身につける。	教科書 書道道具一式	24
5月 ・漢字の書(楷書・行書) ・小筆練習	・楷書、行書の古典に基づく基本的な用筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・小筆の様々な技法や書体別の書き方などの理解を深める。	教科書 書道道具一式	
6月 ・漢字の書(楷書・行書) ・小筆練習	・楷書の古典に基づく基本的な用筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。 ・古典臨書を通し、中国等の文字と書の伝統文化について理解する。 ・小筆の様々な技法や書体別の書き方などの理解を深め、作品に応用できる。	教科書 書道道具一式	
7月 ・漢字の書(行書) ・漢字の書(楷書、行書の創作) ・小筆練習	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。 ・楷書、行書の臨書で身につけた筆法を生かし、熟語を決めて創作を行う。 ・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	
9月 ・漢字の書(草書・隷書・篆書) ・小筆練習	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。 ・小筆の様々な技法を身につけ、身の回りのものに生かすことができる。	教科書 書道道具一式	28
10月 漢字の書(創作)	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	
11月 仮名の書	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。	教科書 書道道具一式	
12月 仮名の書(創作)	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの仮名古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	
1月 ・漢字仮名交じりの書 ・小筆練習	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・言葉と作品の関係と表現についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの古典の臨書により表現力を発展させる。 ・これまでの小筆練習で身につけた技法を暮らしの書で応用することができる。	教科書 書道道具一式	6

評価の観点・方法：授業態度・出欠・遅刻・作品提出状況・作品の質(完成度)・道具の手入れ

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(書道Ⅱ) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：加藤 三奈 @)

使用教科書：「書道Ⅱ」(東京書籍)

	指導内容 【年間授業計画】	「書道Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月	・漢字の書	・年間の予定、授業内容等の理解を把握 ・漢字の書の書体の変遷について知る。	教科書 書道道具一式	24
5月	・漢字の書(篆書・隸書)	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。	教科書 書道道具一式	
6月	篆刻	・篆刻の歴史や鑑賞を通し、篆刻についての知識を深める。 ・印刀の基本的な刻法を身につける。	教科書 書道道具一式 篆刻用具	
7月	篆刻	・篆刻の歴史や鑑賞を通し、篆刻についての知識を深める。 ・印刀の基本的な刻法を身につける。	教科書 書道道具一式 篆刻用具	
9月	漢字の書(草書)	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。	教科書 書道道具一式	28
10月	漢字の書(創作)	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	
11月	仮名の書	・古典作品の臨書により各書体それぞれの特徴を理解し、効果的な表現を身につける。	教科書 書道道具一式	
12月	仮名の書(創作)	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの仮名古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	
1月	漢字仮名交じりの書	・書を愛好する心情を育て、書の文化や伝統についての理解を深める。 ・言葉と作品の関係と表現についての理解を深める。 ・書道の芸術性、個性、書くことの楽しさを理解する。 ・これまでの古典の臨書により表現力を発展させる。	教科書 書道道具一式	6

評価の観点・方法：授業態度・出欠・遅刻・作品提出状況・作品の質(完成度)・道具の手入れ

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(美術総合) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：土生彩香◎)

使用教科書：「高校生の美術1」(日本文教出版)

指導内容 【年間授業計画】	「美術Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 ・オリエンテーション 【絵画】 ・鉛筆の使い方 ・鉛筆のグラデーション ・形の取り方 ・明暗の法則	・年間を通して自分の目標を持ち、計画的に進めるよう意識を高めさせる。 ・身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や鉛筆などの特性を生かして表させる。 ・鉛筆デッサンの基礎力を身に付け応用する能力を身に付けさせる。 ・個性的、創造的な造形力の向上を図る。	教科書 授業プリント ワークシート 鉛筆 練り消し	24
5月 【絵画】 ・鉛筆のグラデーション ・形の取り方 ・明暗の法則 ・身近なものを描く	・身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり、鑑賞したりするとともに、身近なものの特徴や美しさなどの全体のイメージを捉え、線の強弱や鉛筆などの特性を生かして表させる。 ・鉛筆デッサンの基礎力を身に付け応用する能力を身に付けさせる。 ・個性的、創造的な造形力の向上を図る。	教科書 ワークシート 配色カード 絵具(ポスターカラー)など	
6月 【デザイン】 ・色彩の基礎 ・ピクトグラム	・「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの世界の世界や役割を理解し、デザインとは何か、デザインをするときに大切なことは何かを考え、生活における機能性と装飾性を理解し、暮らしを豊かにしている表現を学ばせる。 ・「サイン」のデザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深めさせる。 ・色彩の基礎的な知識を理解し、絵具について基本的な使い方と応用を身に付けさせる。 ・伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて、マークやピクトグラムをデザインさせる。	教科書 ワークシート 配色カード 絵具(ポスターカラー)など	
7月 【デザイン】 ・ピクトグラム ・ポスターで伝える	・色彩の基礎的な知識を理解し、絵具について基本的な使い方と応用を身に付けさせる。 ・伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて、マークやピクトグラムをデザインさせる。 ・伝えたいメッセージや伝える場面などを基に、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、イラストや写真、文字の形や色、構成などの効果、伝達したいイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かし、環境問題に対する注意喚起を目的としたポスターを計画を基にデザインさせる。	教科書 授業プリント ワークシート 配色カード 絵具(ポスターカラー)など	
9月 【デザイン】 ・ピクトグラム ・ポスターで伝える 【彫刻】 ・抽象彫刻で表す	・自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりするとともに、重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻に表させる。 ・個性的、創造的な造形力や鑑賞力の向上を図る。	教科書 ワークシート 彫刻刀 木材など	28
10月 【彫刻】 ・抽象彫刻で表す	・自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりするとともに、重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻に表させる。 ・個性的、創造的な造形力や鑑賞力の向上を図る。	教科書 ワークシート 彫刻刀 木材など	
11月 【彫刻】 ・抽象彫刻で表す	・自然物や人工物などからイメージしたり、楽しい、悲しいなどの感情から形を考えたりしながら、主題を生成し、造形的なよさや美しさや美しさを考え、創造的な表現の構想を練ったり鑑賞したりするとともに、重心やバランス、動きなどを生かして、全体のイメージなどを捉え、材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、存在感や美しさなどが感じられる抽象彫刻に表させる。 ・個性的、創造的な造形力や鑑賞力の向上を図る。	教科書 ワークシート 彫刻刀 木材など	
12月 【彫刻】 ・塑造で表す	・対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、特徴的な形の面白さをもつ対象を選び、量感、バランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、生命感や存在感を感じ取り、作品のイメージに合った質感の表現を工夫して、材料の特性を生かして表させる。 ・個性的、創造的な造形力や鑑賞力の向上を図る。	教科書 ワークシート 粘土 塑造道具など	
1月 【彫刻】 ・塑造で表す	・対象の表情や動きから感じ取ったイメージなどを基に、形や質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、特徴的な形の面白さをもつ対象を選び、量感、バランス、動勢などの効果、全体のイメージなどを捉え、生命感や存在感を感じ取り、作品のイメージに合った質感の表現を工夫して、材料の特性を生かして表させる。 ・個性的、創造的な造形力や鑑賞力の向上を図る。	教科書 ワークシート 粘土 塑造道具など	6

評価の観点・方法：課題への関心・意欲・態度・オリジナリティ・表現技法の巧みさ・仕上がりでの完成度・提出物期限・計画性を総合的に評価

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(美術Ⅱ) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：土生彩香 ㊟)

使用教科書：「高校生の美術2」(日本文教出版)

指導内容 【年間授業計画】	「美術Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 ・オリエンテーション ・ロゴデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して自分の目標を持ち、計画的に進めるよう意識を高める。</li> <li>個性的、創造的な造形力の向上を図る。</li> <li>「飾る」「伝える」「使う」「環境」などの幅広いデザインの世界の世界や役割を理解し、デザインとは何か、デザインをするときに大切なことは何かを考え、生活における機能性と装飾性を理解し、暮らしを豊かにしている表現を学ばせる。</li> </ul>	教科書 授業プリント ワークシート 色鉛筆など	
5月 【デザイン】 ・色彩の基礎 ・ロゴデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>「サイン」のデザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深めさせる。</li> <li>色彩の基礎的な知識を理解し、絵具について基本的な使い方と応用を身に付けさせる。</li> <li>伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて、マークやビクトグラムをデザインさせる。</li> </ul>	教科書 ワークシート 配色カード 絵具(ボスターカラー)など	24
6月 【デザイン】 ・色彩の基礎 ・ロゴデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>「サイン」のデザインを構想・表現するために、色彩、造形の秩序、構成の要素、構図、文字の基本などについて学び、理解を深めさせる。</li> <li>色彩の基礎的な知識を理解し、絵具について基本的な使い方と応用を身に付けさせる。</li> <li>伝達する内容や目的と見やすさや美しさの調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、認識されやすい効果的な形や色彩を使用し、伝達の目的や意図に基づいて、マークやビクトグラムをデザインさせる。</li> </ul>	教科書 ワークシート 配色カード 絵具(ボスターカラー)など	
7月 【デザイン】 ・色彩の基礎 ・ロゴデザイン 【工芸】 ・漆螺鈿小皿と焼き物のコップ ～季節を感じる小皿とコップ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う人の心情や使用する場などで求められる機能と美しさとの調和、材料の性質や構造などについて理解を深め、使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインさせる。</li> <li>日本の伝統文化に触れ、その表現力と素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージなどを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫させる。</li> </ul>	教科書 ワークシート 木材など	
9月 【工芸】 ・漆螺鈿小皿と焼き物のコップ ～季節を感じる小皿とコップ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う人の心情や使用する場などで求められる機能と美しさとの調和、材料の性質や構造などについて理解を深め、使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインさせる。</li> <li>日本の伝統文化に触れ、その表現力と素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージなどを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫させる。</li> </ul>	教科書 ワークシート 木材など	
10月 【工芸】 ・漆螺鈿小皿と焼き物のコップ ～季節を感じる小皿とコップ～	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う人の心情や使用する場などで求められる機能と美しさとの調和、材料の性質や構造などについて理解を深め、使う人や場面、デザインの目的や条件、機能や用途、美しさなどを考えて、暮らしの中にあるものをデザインさせる。</li> <li>日本の伝統文化に触れ、その表現力と素材の特性を理解し、表したいイメージを基に形や色、質感、重心などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、バランス、動勢などの効果を工夫し、全体のイメージなどを捉え、素材と向き合い、素材の可塑性や弾力性、軽さや重さ、質感や触感、加工や接着の方法などを理解し、素材の特性を生かして表し方を工夫させる。</li> </ul>	教科書 ワークシート 木材など	
11月 【絵画】 ・水墨画 ・金屏風	<ul style="list-style-type: none"> <li>風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、制作の知恵などを理解し、金雲や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉え、鑑賞させる。</li> <li>墨による表現の特性やイメージを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果を理解し、墨によりつくりだされるイメージを捉え、意図に応じて墨の特性を生かして、積墨法や破墨法、筋目描きなどの技法を体験しながら発想を広げ、いろいろなモチーフのイメージを水墨画で表現させる。</li> </ul>	教科書 プリント 水墨画用具など	28
12月 【絵画】 ・水墨画 ・金屏風	<ul style="list-style-type: none"> <li>風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、制作の知恵などを理解し、金雲や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉え、鑑賞させる。</li> <li>墨による表現の特性やイメージを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果を理解し、墨によりつくりだされるイメージを捉え、意図に応じて墨の特性を生かして、積墨法や破墨法、筋目描きなどの技法を体験しながら発想を広げ、いろいろなモチーフのイメージを水墨画で表現させる。</li> </ul>	教科書 プリント 水墨画用具など	
1月 【絵画】 ・水墨画 ・金屏風	<ul style="list-style-type: none"> <li>風や掛軸、絵巻などのよさや美しさ、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考え、日本の美術の独自の美意識や自然観、制作の知恵などを理解し、金雲や空間、構図、色彩などの効果、全体のイメージや作風、様式などを捉え、鑑賞させる。</li> <li>墨による表現の特性やイメージを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりするとともに、墨の濃淡、にじみやかすれなどの効果を理解し、墨によりつくりだされるイメージを捉え、意図に応じて墨の特性を生かして、積墨法や破墨法、筋目描きなどの技法を体験しながら発想を広げ、いろいろなモチーフのイメージを水墨画で表現させる。</li> </ul>	教科書 プリント 水墨画用具など	6

評価の観点・方法：課題への関心・意欲・態度・オリジナリティ・表現技法の巧みさ・仕上りの完成度・提出物期限・計画性などを総合的に評価

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(音楽表現) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：松下訓子 ㊟)

使用教科書：「MOUSA I」(教育芸術社)

	指導内容 【年間授業計画】	「音楽Ⅰ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月	オリエンテーション 【歌唱】校歌 日本語の斉唱曲 【器楽】ギター 【楽典】五線 音部記号	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	24
5月	【歌唱】校歌 重唱曲 日本語の斉唱曲 【器楽】ギター 【楽典】音部記号 音名(イタリア語、英語)	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
6月	【歌唱】重唱曲 日本語の斉唱曲 【器楽】ボディーパーカッション 打楽器アンサンブル 発表 【楽典】音名(イタリア語、英語) 筆記テスト	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
7月	【歌唱】ミュージカル曲 【鑑賞】ミュージカル	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	28
9月	【歌唱】外国語の歌曲 【器楽】ピアノ ピアノアンサンブル 【楽典】コードネーム	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
10月	【歌唱】外国語の歌曲 【器楽】ピアノ ピアノアンサンブル 【楽典】音程	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
11月	【歌唱】外国語の歌曲 【器楽】器楽アンサンブル 【楽典】コードの仕組み 【創作】5音音階 筆記テスト	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
12月	【歌唱】合唱曲 【創作】5音音階 【鑑賞】民族音楽 西洋音楽	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
1月	【歌唱】合唱曲 【創作】5音音階 【鑑賞】民族音楽 西洋音楽	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	6

評価の観点・方法：①実技テスト(充分な声量、正しいリズム、音程、明瞭な発音、器楽演奏表現の工夫)  
②楽典等の板書事項や、鑑賞作品の感想文をノートに書き、提出する。  
③集団の中で他の生徒と協調して活動できたか。授業への参加態度。

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(音楽Ⅱ) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：松下訓子 ㊞)

使用教科書：「音楽ⅡMOUSA2」(教育芸術社)

指導内容 【年間授業計画】	「音楽Ⅱ」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 オリエンテーション 【歌唱】日本語の斉唱曲 【器楽】ギター 【楽典】音名	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	24
5月 【歌唱】日本語の斉唱曲 外国語の歌曲 【器楽】ギターアンサンブル 実技テスト 【楽典】音名	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
6月 【歌唱】日本語の斉唱曲 外国語の歌曲 【器楽】ボディーパーカッション 打楽器アンサンブル 発表 【楽典】コードネーム 筆記テスト	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
7月 【鑑賞】ミュージカル	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	28
9月 【歌唱】日本語の重唱曲 【器楽】ドラム 【楽典】音程	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
10月 【歌唱】日本語の重唱曲 実技テスト 【器楽】器楽アンサンブル 【楽典】音程 コードの仕組み	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
11月 【歌唱】合唱曲 【器楽】器楽アンサンブル 実技発表 【創作】5音階 筆記テスト	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	6
12月 【歌唱】合唱曲 【創作】5音階 【鑑賞】民族音楽	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	
1月 【歌唱】合唱曲 【鑑賞】バレエ	①楽曲の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に歌うことができるようにする。 ②様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かして演奏できるようにする。 ③現代の我が国及び諸外国の音楽の特徴を理解して鑑賞できるようにする。 ④楽典の基礎を習得し、正しく読譜ができるようにする。	教科書 楽譜 プリント	

評価の観点・方法：①実技テスト(充分な声量、正しいリズム、音程、明瞭な発音、器楽演奏表現の工夫)、  
②楽典等の板書事項をノートに書き、提出する。  
③集団の中で他の生徒と協調して活動できたか、授業への参加態度。  
④個別学習において自己の課題を設定し、それに対し意欲的に実習することができたか。

年間授業計画

教科：(芸術) 科目：(音楽理論) 対象：(第3学年)

単位数：2

教科担当者：(A～F組：松下訓子 ㊟)

指導内容 【年間授業計画】	「音楽理論」の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定 時数
4月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G基本形) ●音楽理論 ・五線 ・音部記号	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	24
5月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G転回系含む) ●音楽理論 ・音部記号 ・大譜表	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	
6月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G転回系含む) ●音楽理論 ・臨時記号 ・これまでのまとめテスト	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	
7月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G・Am) ●音楽理論 ・音符と休符	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	
9月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G・Am・Dm・Em) ●音楽理論 ・付点音符と付点休符 ・音部記号	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	28
10月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (C・F・G・Am・Dm・Em) ●音楽理論 ・小節 ・拍子記号	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	
11月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (メジャー・マイナー・セブンス) ●音楽理論 ・タイとスラー ・反復記号 ・これまでのまとめテスト	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器	
12月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (メジャー・マイナー・セブンス) ●音楽理論 ・調号 ・記号と標語	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器	
1月 ●ピアノ実技 ・バイエル ・童謡曲のコード伴奏 (メジャー・マイナー・セブンス) ●音楽理論 ・これまでのまとめテスト	・保育に必要な鍵盤楽器の技術を習得する。 ・個々人に応じた課題を設定し、実技練習を行う。 ・単元ごとに実技テストを実施し、実技の定着を図る。 ・楽譜の読譜ができるようにする。 ・五線紙に記譜できるようにする。	電子鍵盤楽器 楽譜	6

評価の観点・方法：実技テスト(鍵盤楽器の演奏)、楽典等の板書事項をノートに書き、提出する。授業への参加態度。